

通信文化 2019年5月号

公益財団法人
通信文化協会
5/5 発行



前島密賞受賞記念インタビュー

暗号と現代

エアコンから電子投票まで

NTTセキュリティプラットフォーム研究所 阿部正幸

巻頭言

エンディングデザイン研究所代表

井上治代

親から子へ最後の教育

暖流・寒流

「やっぱり、ゆうちよ」とは

政治の潮流

令和時代と「安倍四選」の行方

ダイバーシティ通信

社員がいきいきと輝く郵便局に

(静岡県西駿河地区連絡会の取り組み)

歴史散歩

歴史家 加来耕三

自然の摂理に従った難工事成功法
服部長七

日本人ここにあり

作家 出久根達郎

郵便局の窓口 ～小津安二郎～

切手歳時記

ホトトギス

「目に青葉 山ほととぎす 初鰹」といわれ、ホトトギスの鳴き声は夏の到来をつげる。



直球曲球

海外の現地スポーツ報道に
一喜一憂しすぎではないか

論より紹興酒

二つ目になるとどうこと

落語家 立川談四樓

ドクターに聞く 病気と健康

乳がん

東京通信病院第一外科医長
(乳腺センター長) 西村 基

日本では女性の十一人に一人が乳がんになるといわれ、乳がんの罹患率は女性のがんの第一位だ。また四十歳代、五十歳代で全年齢の四六%程度を占める。

誰かに教えたくなる

科学技術の話

際限のない人類の願望 「高層建築」

わが街わが故郷

フリンティ・I W A K E I いわき市 (福島県)



いわき市は三年前、市制五十周年の節目を迎え、「ふるさといわき」の創生に向けて取り組んでいる。リゾート施設「スパリゾートハワイアンズ」のほか、歴史ある文化財や海の恵みも豊富だ。

地域おこし

富山県舟橋村の取り組み

日本一小さな村・舟橋村

簡易郵便局を訪ねて

甲斐ノ川簡易郵便局 (和歌山県龍神村)

読者プレゼント
いかの塩辛
抽選で30名様



【編集】

〒113-8139 東京都文京区湯島 4-5-16
公益財団法人通信文化協会 編集担当